


項目	内容
名称	ヤマモモ [英]Bayberry、Candleberry Myrica、 SouthernBayberry、 SouthernWaxMyrtle、 Tallow Shrub、 Vegetable Tallow、 WaxMyrtle、 Waxberry [学名]Myrica rubra Sieb. et Zucc.
概要	<p>ヤマモモは、国内では本州以南の温暖な地方、海外では朝鮮半島、中国、台湾、フィリピンに自生あるいは植栽する常緑高木。雌雄異株で高さ約15 m、花期は4月、夏に実が熟す。ヤマモモの名は“山に生えていて、食べられる実をつける”ことに由来する。甘酸味のある果実が生食されるほか、樹皮が染料として利用される。漢方では<楊梅 (ヨウバイ)>の名で樹皮、根、種仁が薬用とされる。</p> 
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤマモモ (ヨウバイヒ/Myrica rubra) 樹皮：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存添加物 ヤマモモ抽出物：酸化防止剤 ・ 天然香料基原物質リスト ヤマモモが収載されている。
成分の特性・品質	

<p>主な成分・性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・樹皮にはミリシトリン、ミリセチンのほか、タンニンが含まれる (29)。 ・果実にはミリシトリン、リンゴ酸、シュウ酸、クエン酸、アントシアニン配糖体などが含まれる (29)。 ・葉には、ミリセチン、リモネン、α-フェランドレン、β-カリオフィレンなどが含まれる (PMID:15898708)。
<p>分析法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマモモ果実に含まれるエラグ酸をHPLC法により分析した報告がある (PMID:11093643)。 ・葉を水蒸気蒸留で抽出して得られた精油の化学組成を、GC/MS法 (ガスクロマトグラフ質量分析法) により分析した報告がある (PMID:15898708)。 ・ヤマモモ中タンニン類をNMR (核磁気共鳴分光法) により同定した報告がある (PMID:11449525)。
<p>有効性</p>	
<p>循環器・呼吸器</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>消化系・肝臓</p>	<p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NAFLDの特徴がみられる若者44名 (平均21.2\pm1.2歳、中国) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、ヤマモモジュース500 mL/日を4週間摂取させたところ、血漿TNF-α、IL-8、PCG (酸化ストレスマーカー)、TPS、CK-18 M30 (アポトーシスマーカー) の低下が認められたが、血中脂質 (TG、TC、LDL-C、HDL-C)、空腹時血糖値、インスリン濃度、HOMA-IR、高感度CRP、肝酵素 (AST、ALT) に影響は認められなかった (PMID:24377455)。
<p>糖尿病・内分泌</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>生殖・泌尿器</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>脳・神経・感覚器</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>免疫・がん・炎症</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>骨・筋肉</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>発育・成長</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>肥満</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>その他</p>	<p>調べた文献に見当たらない。</p>
<p>参考文献</p>	<p>(7) 中薬大辞典 小学館 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:15898708) <i>Phytomedicine</i>. 2005 Apr;12(4):299-304. (PMID:11093643) <i>J Chromatogr A</i>. 2000 Oct 27;896(1-2):87-93. (PMID:11449525) <i>Fitoterapia</i>. 2000 Sep;71(5):610-2. (PMID:557937) 1977 Apr;38(4):252-4. (PMID:24791597) <i>Pharmazie</i>. 2014 Apr;69(4):306-10. (PMID:24377455) <i>Nutrition</i>. 2014 Feb;30(2):198-203. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p>

